



令和6年度 学校だより

つなぐ

翠輝学園 つくば市立
みどりの南小学校
第34号
発行日 R6.11.27

自分たちの茨城県を知る～県庁・笠間焼 4年校外学習

秋の遠足シーズン、第2弾は4年生です。10月30日(水)、校外学習で茨城県庁の見学と笠間焼の体験に行ってきました。4年生の社会科では、自分たちの県の環境や特色について学ぶため、この校外学習が企画されました。午前中は雨が降る天気でしたが、屋内での活動のため、予定通りに活動。児童らは県庁の建物の大きさに驚きながら、展望台や県政シアターを見学したり、隣の県議会の議事堂を見学したりしました。

その後、笠間市にある笠間焼窯元「大津晃窯（おおつこうよう）」へ到着。美味しいお弁当を食べた後、予め考えておいたデザインをもとに、手ひねりで思い思いにカップやお皿を制作しました。これらは後日、焼き上げてもらい完成したものが送られてきます。どんな作品になったか、楽しみですね。保護者の皆様にはご準備等、大変お世話になり、ありがとうございました。



「いばらき」を知る



県政シアターで映像を見て



手ひねりで思い思いに

みなみトピックス

これまでの話題から

【「もし、学校に不審者の侵入があったら…」 不審者対応訓練の実施】

去る10月8日(火)3校時、つくば警察署の立ち合いのもとで「不審者対応訓練」を行いました。

今回の訓練は、“学校を病院と間違えて”正門（児童用）から侵入した不審者（警察官が扮する）への対応について訓練しました。今回の訓練にあたり、学校では「防護盾」を準備して活用しました。（多くの学校では刺股〔さすまた〕を常備していますが、警察との事前打合せの際、使用法に習熟した方が使わないと効果がなく、逆に危険とのことで、盾を使用しました。）

訓練では、まず、不審者に気付いた教職員が声をかけると、不審者の言動に危険を察知。職員室にいる教職員が“隠語”を使った校内放送で教職員に知らせると、複数の教職員が駆け付けます。不審者が刃物を出し、危険人物であることが分かると、盾やモップ等を持って対処。最後は、剣道の経験のある吉井 陽亮 先生がモップで不審者の手を叩いて刃物を落とし、全員で取り押さえました。その後の警察の方からの助言では「不審者を取り押さえるのではなく、盾と道具の2チームで相手を囲み、膠着状態をつくり、警察が到着するまでの5分間、粘ることが大切」とのご指導をいただきました。

そして、子供たちは担任の先生の指示で体育館へ避難後、警察の方から不審者対応についてお話を聞きました。「いかのおすし」を正しく理解することや、しゃべらずに先生の話（指示）をよく聴くことをアドバイスいただきました。

今回は、授業中という設定での訓練でしたが、実際には、いつ、どこで、どんな不審者が現れるかは分かりません。

登下校や休日も含め、万が一の危険を感じたら、すぐにその場を離れ、近くの人に知らせるようにさせたいと思います。

